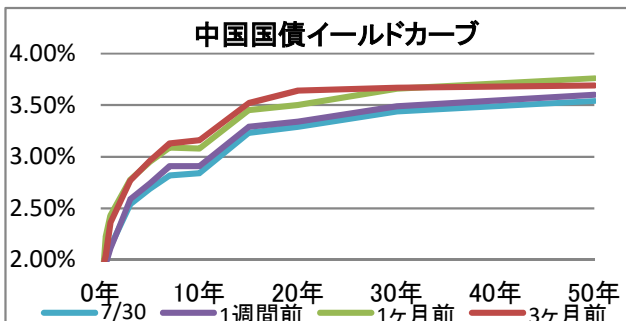
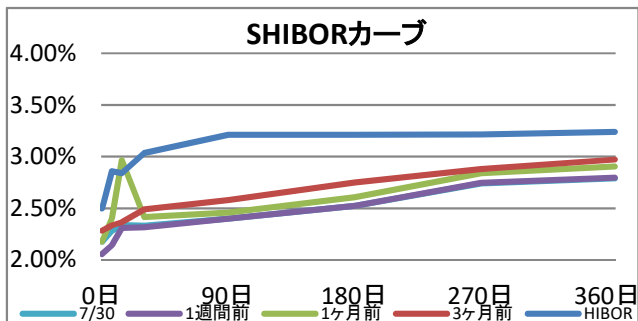


## ①市場概況

基準レート		2021/7/30	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.4602	-0.0048
	JPY/CNY	5.9013	0.0304
SHIBOR	3M	2.4010%	-0.0010%
国債利回り	10年	2.84%	-0.08%
上海総合指数		3,397.36	-153.04



## (1) 概況

世界的な新型コロナウイルス変異種感染拡大や王毅中国外交部長とシャーマン米国務副長官の厳しい会談の状況が伝わり米中関係改善が通せない状況の中、中国では規制強化により中国株式市場が急落する事態となったものの、世界の金融市場は米FOMCでの金融緩和策維持も確認されたことから概ね安定して推移している。

中国金融市場では、政治局会議を控えて教育関連規制強化が伝わると、更なる規制強化を懸念する外国投資家の資金が流出に転じてトリプル安となる等の混乱が見られ、中国金融当局の対応もあって一旦は落ち着いたかに思えたものの中央政治局会議を控えて規制強化懸念は根強く、株式市場は大幅に下落し、債券利回りも1年ぶりの低水準に低下している。

注目された中共中央政治局会議は現状の政策を肯定し、積極的な財政政策と安定した金融政策による継続性のあるマクロ経済政策により、安定した成長を実現するというもので、追加の規制強化を示唆する内容ではなかった。また、中国人民銀行は下期業務会議を開催し、安定的な金融政策の継続と温暖化対応、金融開放、金融改革とリスク防止、IT企業と仮想通貨に対する対策強化等を決めている。

中国銀行保険監督管理委員会 (CBIRC) は、独アリアンツ保険にアセットマネジメント完全子会社の設立を認可し、中国証券業監督管理委員会 (CSRC) はCiti現地子会社にカスタディ業務を認可し、米SECの米国上場中国企業への中国政府関与に関する情報等の追加開示要求に対しては、米SECとの連携強化や中国企業の海外上場支持等を表明。また、CBIRCは信託会社に対する非金融子会社に対する規制を強化し、シャドウバンキング規制を一段と強化している。

## (2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日500億元に対し、新規リバースオペ900億元を実施し、ネットで400億元を供給。

## (3) 主な経済指標

国家統計局のPMI (7月) は、製造業50.4 (6月50.9)、非製造業53.3 (同53.5)、総合52.4 (52.9) と、製造業は4ヶ月連続、非製造業と総合では2ヶ月連続で低下している。製造業では中小企業での悪化や生産と新規受注 (特に輸出受注が一段と悪化) が50以上ながら低下する一方、雇用は50以下ながら若干改善し、出荷価格も小幅に改善している。

## ②資金市場

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.1780%	2.0000%	2.2900%	
1W	2.2840%	2.0500%	2.4000%	2.0500%
2W	2.3390%	2.4500%	2.4000%	2.0500%
1M	2.3310%	4.6000%	2.3500%	2.2000%
3M	2.4010%	3.3000%	2.4500%	2.3800%
6M	2.5250%	2.7250%	2.7000%	
9M	2.7400%			2.6500%
12M	2.7890%			2.7200%

月末と株式市場の乱高下等による混乱も懸念されたが、中国人民銀行が市場調節を若干増額して無難に乗り切っている。ターム物は1ヶ月の2.4%前後での出合いを除き限定的。

NCDは、金融緩和期待はあるものの、月末でもありやや活性が低下し、金利水準もほぼ横ばい推移となっている。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.20%、3ヶ月物は2.38%、6ヶ月が2.52%、1年が2.72%を中心に取引されている。

### (2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.04%	0.05%
1W	0.05%	0.06%
1M	0.08%	0.10%
3M	0.02%	0.20%
6M	0.28%	0.30%
12M	0.40%	0.45%

資金需給に大きな変化はないものの、国外からの資金流入の減少によりターム物の金利水準が若干高めでの推移となっている。ターム物の出合いは、1ヶ月では0.08~0.10%、3ヶ月は0.20~0.25%での出合いとなっている。

### ③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.76%	2.02%	2.35%	2.39%	2.81%
6M	1.97%	2.24%	2.53%	2.55%	2.97%
1Y	2.13%	2.25%	2.71%	2.68%	3.14%
3Y	2.54%	2.72%	2.90%	3.05%	3.75%
5Y	2.69%	2.91%	3.20%	3.33%	4.22%
10Y	2.84%	3.16%	3.57%	3.63%	4.52%

債券市場では、月末週とあって足下金利がやや高めで推移し、外国投資家資金の流出もあって週半ばまでは利回りが上昇していたものの、中国政府の対応や米FOMCを受けて利回りは低下に転じ、ほぼ1年ぶりとなる水準まで低下している。イールドカーブは、前週比では中長期を中心に5bp超低下してフラットニングに転じたが、クレジットスプレッドには概ね変化はなかった。

### ④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	25.7 / 25.9
1M	129.0 / 130.0
3M	418.0 / 420.0
6M	866.0 / 875.0
9M	1235.0 / 1245.0
12M	1608.0 / 1611.0

対ドル基準レートは、6.4602と前週末比-48pipsのドル安元高、対円基準レートは5.9013と同+304pipsの円高元安と、対ドルでは教育関連等の規制強化を契機とする国外資金の引上げにより6.49台での設定となっていたものの、中国金融当局の対応と米FOMCを受けてほぼ前週末水準に戻している。国内市場でも一時は6.50台まで上昇し、レンジが切り上がったのではとする意見もあったが、6.46台まで戻している。

先物は、人民元金利が小幅に上昇する一方で米FOMCでの金融緩和継続期待が強いことから、スワップ幅は1年物が一時1600台後半まで拡大していたものの、週末には1600台前半まで戻している。

### ⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.32%		2.14%
6M	2.34%	2.52%	2.14%
9M	2.34%	2.55%	2.14%
1Y	2.35%	2.60%	2.13%
3Y	2.52%	2.88%	2.33%
5Y	2.70%	3.12%	
7Y	2.84%	3.29%	
10Y	2.99%	3.47%	

スワップ金利は、債券利回りは低下したものの基準金利が高止まったことからやや下げ渋り。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは、債券利回りのフラットニングを映じて、やや長期の下げ幅が大きくなっている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。